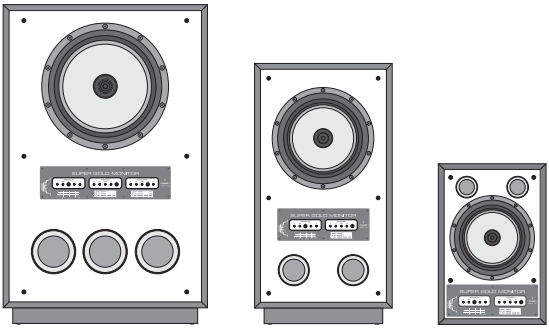
クイックスタートガイド

JP



SGM 10/12/15

Heritage 10"/12"/15" Studio Main Monitor
Based on the Legendary SUPER GOLD Design

V 2.0

TANNOY

JP

JP 安全指示

1. これらの指示をお読みください。

2. これらの指示を守ってください。

3. すべての警告に注意してください。

4. すべての指示に従ってください。

5. この装置を水の近くで使用しないでください。

6. 乾いた布でのみ拭いてください。

7. 換気口をふさがないでください。製造元の指示に従ってインストールしてください。

8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置 (アンプを含む) などの熱源の近くに設置しないでください。

9. 製造元が指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。



10. 製造元が指定した、または装置と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。



11. この製品の正しい廃棄: この記号は、WEEE 指令 (2012/19 / EU) および国内法に従って、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器 (EEE) のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人間の健康に悪影響を与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルする場所の詳細については、最寄りの市役所または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。

12. 本棚などの狭い場所には設置しないでください。

13. 火のともったろうそくなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

JP

前書き

Tannoy SGM シリーズモニターをお買い上げいただきありがとうございます。これらは、比類のない音楽のアーティキュレーションと卓越したダイナミクスと精度を提供するプロのミッドフィールドリファレンスモニターです。高度なデュアル同心ドライバーを使用して、非常に費用効果の高い設計で点光源操作の利点を提供します。魅力的な木製パネルキャビネットとフロントパネルは、優れた音響性能に貢献しています。点光源操作により、横向きと縦向きの両方で同等に機能します。

このクイックスタートガイドは、スピーカーの設置方法と使用方法に関する役立つアドバイス、およびシステムの設計方法と詳細な仕様に関する技術情報をユーザーに提供することを目的としています。監視システムから最良の結果が得られることを願っています。

このドキュメントの説明に従って新しいモニターをセットアップしたら、www.tannoy.com で製品をオンラインで登録してください。これは法的権利を制限するものではありません。

開梱

スピーカーを損傷することなくカートンから取り出すには、フラップを完全に開き、すぐ後ろに曲げます。パッケージを床で逆さまにし、カートンを垂直に持ち上げて、スピーカーを梱包トレイに置いたままにします。

輸送中の損傷の兆候がないか、各スピーカーを検査します。万が一これが発生した場合は、運送業者とサプライヤーに連絡してください。損傷が発生した場合は、過度の取り扱い力の形跡が見られるため、すべてのパッケージを保管してください。将来の輸送のためにカートンを保管しておくこともお勧めします。

注意

これらのモニターは、長期間にわたって高いサウンドレベルを生成することができます。歪みのレベルが低いため、これらのモニターで作業するときにサウンドレベルが高いことは必ずしも明らかではありません。長期間にわたって過度のレベルにさらされると、永続的な聴覚障害を引き起こす可能性があることに注意してください。

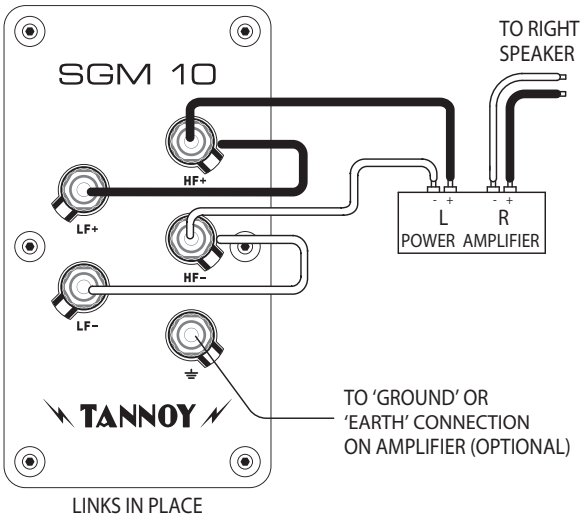
JP

操作

このマニュアルの製品仕様セクションを参照してください。これは、スピーカーに適合するアンプの許容電力範囲を明確に示しています。すべてのスピーカーシステムと同様に、電力処理はボイスコイルの熱容量の関数です。アンプをオーバードライブしないように注意する必要があります。これにより、出力過負荷が発生し、出力信号内で「クリッピング」または歪みが発生します。これを長期間行うと、スピーカーが損傷する可能性があります。一般に、ハードに動作しているが歪みのない高出力のアンプは、低出力のアンプが継続的にクリッピングするよりも、スピーカーに損傷を与えるリスクが少なくなります。また、出力電力の 90% 未満で動作する高出力アンプは、一般に、100% を達成するのに苦労している低出力の例よりもはるかに優れていることを覚えておいてください。

予算内で入手可能な最高品質のケーブルを常に使用してください。アンプからスピーカーに渡される高品質のオーディオ信号は、ケーブルへの要求において珍しいものです。広いダイナミックレンジと広い帯域幅の情報は、損失や信号障害を発生させることなく、少なくとも 10 アンペアのピーク電流を送信する機能と共存する必要があります。各スピーカーのケーブルは常に同じ長さにすることをお勧めします。ケーブルの構造は音質に影響を与える可能性があるため、耳とオーディオシステムに適したケーブルを見つけるために実験する準備をしてください。

単線モード



LINKS IN PLACE

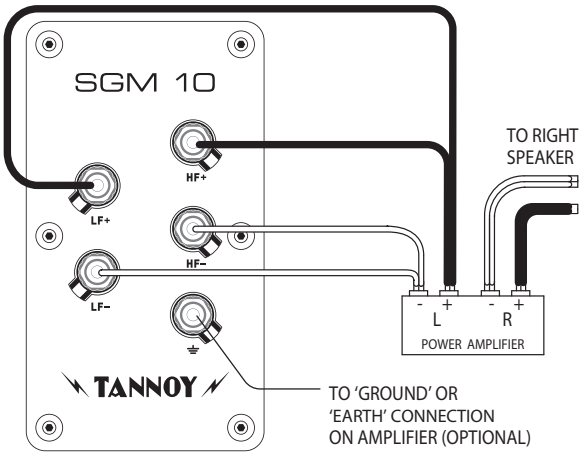
まず、アクセサリパックに含まれているリンクを使用して、HF+ 端子を LF+ 端子に、HF- 端子を LF- 端子にリンクします。アンプの左チャンネルの正 (プラス) 端子 (+または赤でマーク) は、左スピーカーの正の HF 端子に接続する必要があります。左のスピーカーは、リスニングポジションからステレオペアを見たときの左側のスピーカーです。アンプの左チャンネルの負 (マイナス) 端子 (-または黒でマーク) は、左スピーカーの負の HF 端子に接続する必要があります。

右側のスピーカーに対してこの接続プロセスを繰り返します。アンプのプラス (+または赤) はスピーカーのプラス (+または赤) に接続し、マイナス (-または黒) はマイナスに接続する必要があることに注意してください。CD プレーヤーなどの信号源を選択し、アンプのスイッチを入れ、音量コントロールをゆっくり上げて、両方のスピーカーが低音と高音の情報を再生していることを確認します。

アース接続

パフォーマンスをさらに最適化するには、不要な無線周波数干渉を減らすために、シールドまたはスクリーン付きスピーカーケーブルを使用します。スクリーニング終端は、スピーカーのアースまたはアース (白) 端子とアンプのアースまたはアース接続に接続する必要があります。または、スクリーン付きスピーカーケーブルを使用していないが、アース設備を利用したい場合は、スピーカーとアンプのアース端子の間に1本のケーブルを配線します。

バイワイヤーモード



LINKS REMOVED

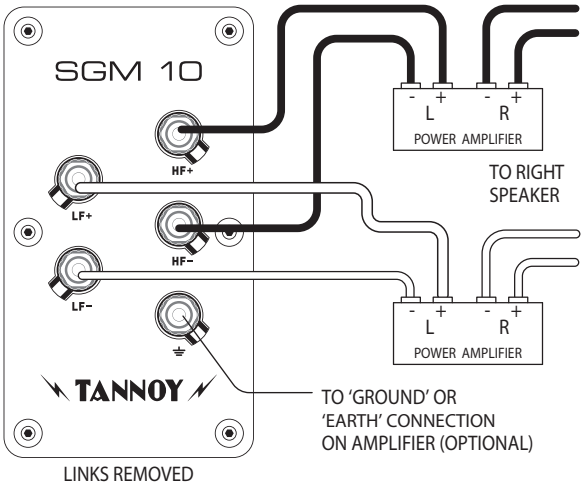
バイワイヤモードでは、リンクケーブルを使用しないでください。特別に設計されたバイワイヤースピーカーケーブルを使用すると、最良の結果が得られます。

アンプに 2 セットの出力端子が装備されていない場合は、ケーブルのアンプ側で左 LF+ (正) と左 HF+ (正) を一緒にねじります。これらをアンプの左チャンネルのプラス端子に接続します。+ (プラス) または赤色でマークされています。左側の LF- (マイナス) ケーブルと HF- (マイナス) ケーブルを一緒にねじって、- (マイナス) または黒色のマークが付いたアンプの左側チャンネルのマイナス端子に接続します。

スピーカーの端で、Left LF +および Left LF- というラベルの付いたケーブルを左側のスピーカー LF 端子に接続し、ケーブルシースの極性マークに注意してください。次に、左 HF+ と左 HF- を同じスピーカーの HF 端子に接続します。

このプロセスを繰り返して、右側のスピーカーをアンプの右側のチャンネル出力に接続し、極性が全体を通して正しいことをもう一度確認します。

バイアンプモード



バイアンプは、バイワイヤリングの原理をさらに 1 段階拡張します。この接続オプションでは、各スピーカーの低音信号と高音信号に別々のパワーアンプが使用されます。スピーカーのステレオペアには、同じタイプの 4 つのモノラル (または 2 つのステレオ) アンプが必要です。

2 つのステレオアンプを使用する場合は、一方のアンプが左右のスピーカーに低音情報を提供し、もう一方のアンプが高音情報を提供することをお勧めします。端子台にリンクケーブルを使用しないことが重要です。使用しないと、アンプが損傷する可能性があります。

JP

操作

インストール

モニターに適した場所を選択するときは、スピーカーの物理的な取り付けがパフォーマンスに大きな影響を与える可能性があることに注意してください。最良の結果を得るには、モニターを剛性のある構造に取り付け、ラミネートパネルと接触するパッドでサポートする必要があります。その目的のために、粘着フォームパッドがスピーカーに付属しています。モニターを横向きに配置する場合は、パッド全体を裏紙から取り外し、大きい方に貼り付けてキャビネットの底にします。縦向きに配置する場合、パッドは事前にカットされているため、下部パネルの小さいサイズに合わせて半分を簡単に取り外すことができます。

モニターの位置は、ドライブユニットが内側に向き、軸がリスニング位置に向くようにすることをお勧めします。2 つのスピーカー間の距離は、監視位置に応じて 2~3 メートルにする必要があります。監視位置と各スピーカー間の距離は、スピーカー間の距離よりわずかに大きくする必要があります。スピーカーが近すぎると、完全なステレオイメージが得られない場合があります。一方、それらを離しすぎると、ステレオイメージの中央に穴ができます。

座っているときに、コンソールの位置がデュアル同心ドライブユニットからの直接音の放射を遮らないようにしてください。エンジニアとプロデューサーは、モニタースピーカーを途切れることなくはっきりと見ることができます

調整

各ラウドスピーカーモデルには、TrebleEnergy と TrebleRoll-Off というラベルの付いた 2 つのコントロールがあり、SGM15 には PresenceEnergy と呼ばれる追加のコントロールがあります。これらにより、リスニング環境に合わせて高周波応答を調整できます。

調整を行うには、各スピーカーを一度に 1 つずつモノラルで操作する必要があります。ソースオーディオからの出力をパンして、信号全体が左または右のスピーカーにのみ渡されるようにします。トレブルエネルギーコントロールは、1 kHz から 20 kHz までの全周波数範囲で HF ドライバーを増減しますが、トレブルロールオフは 5 kHz を超える最高周波数にのみ影響します。Presence Energy は、1~5 kHz の周波数をブーストまたはカットします。

すべてのコントロールは、最初は「レベル」の位置に設定する必要があります。音が明るすぎたり鈍すぎたりする場合は、トレブルエナジーを使用して幅広い調整を行うことができます。この設定が確立された後、必要に応じて、トレブルエネルギー（および SGM 15 のプレゼンスエネルギー）を使用してさらに微調整を行うことができます。各コントロールへの変更はかなり微妙であり、監視されているオーディオの調整対象のスペクトルのエネルギーがほとんどない場合は、まったく聞こえない場合があります。スピーカーの位置と室内音響もスピーカーの応答に影響を与えることに注意してください。

JP

整備

キャビネットの掃除

跡や擦り傷を取り除くには、中程度の柔らかいブラシを使用します。必要に応じて、少量の温水と洗剤を使用できますが、いかなる状況でも溶剤や研磨剤入りのクリーナーは使用しないでください。表面は濡れると色が変わりますが、乾くと通常の状態に戻ります。

デュアル同心ドライバーの削除

保守作業を行う前に、アンプを信号入力および主電源から切断する必要があります。背面プレートを保護するように注意しながら、キャビネットを背面に置きます。4 本の六角ボルトを外して脇に置きます。前面に印を付けないように注意しながら、キャビネットの前面からドライバーを楽にします。

必要に応じて、頑丈な段ボールを使用してレバーを押します。LF ドライバーの可動部を傷つけないように注意しながら、ドライバーを取り外し、内部配線を外してください。

ドライバーを再度取り付けるには、ワイヤーハーネスからのケーブルを LF (赤+ veおよび青-ve) および HF (白 +ve および黒 -ve) 端子に接続します。ドライバーを取り付け穴に取り付け、ボルトを指でしっかりと締めてから、ドライバーが均等に着座するように徐々にトルクを下げます。

ドライブユニットのサービス

HF ユニットには新しいダイアフラムアセンブリを取り付けることができます。ドライバーを下に向けた状態で、HF アセンブリを固定している 3 本のボルトを外し、HF ユニットを垂直に上向きに持ち上げて、LF 磁石による磁気引力から遠ざけます。ダイヤフラムを交換します-それはセルフセンタリングです-部品を正しく位置合わせするように注意してください。

HF ユニットを再度取り付けるには、両手で LF マグネットの垂直方向に約 30 cm 持ち上げ、肘に乗せます。肘をスライドさせて離し、HF ユニットを LF マグネットの背面に下げます。HF ユニットが磁石に近づくと、磁場が反発するのを感じるでしょう。固定穴の位置を合わせてボルトで固定し、均等に締めます。HF ユニットが正しく取り付けられ、2 つのマグネットシステムが平行に見えるまで、最後にボルトを締めないでください。

LFユニットは通常の方法で再円錐化することができます。リコーンキットに付属の部品と接着剤のみを使用してください。

ユニットの確認

アンプに接続された正弦波発生器を使用して、ユニット全体をチェックできます。ドライブユニットから発生するバズノイズやガラガラノイズをチェックするには、高品質で低歪み (できればビート周波数) の発振器が必要です。ユニット全体をテストすることには明らかな欠点があり、欠陥があると、ドライブユニットまたはアンプのどちらが故障しているかを判断するのが難しい場合があります。この場合、各部品を個別にチェックする必要があります。つまり、ドライブユニットを取り外す必要があります (上記を参照) 。

何らかの理由でアンプをキャビネットから取り外す必要がある場合は、関連するネジのみを取り外すように注意する必要があります (取り付けネジは 8 つあり、プレートの両側に 2 つずつあります) 。

JP

技術仕様

	SGM 10	SGM12	SGM 15
システム			
周波数応答	40 Hz-30 kHz ±6dB	38 Hz - 30 kHz ±6 dB	35 Hz – 30 kHz ±6 dB
推奨アンプパワー	20 - 200 W	20 - 250 W	20 - 300 W
パワーハンドリング (IEC)	連続 100 W、ピーク 400 W	連続 125 W、ピーク 500 W	150 W 連続、600 W ピーク
感度	89 dB (1 W @ 1 m)	91 dB (1 W @ 1 m)	93 dB (1 W @ 1 m)
インピーダンス	8 Ω	8 Ω	
コンポーネント			
低周波デュアル同心円	1 x 10" (254 mm) 紙パルプコーン、ツインロール含浸ファブリックサラウンド、52 mm (2") エッジ巻きボイスコイル	1 x 12 " (300 mm) 紙パルプコーン、ツインロール含浸ファブリックサラウンド、52 mm (2") エッジ巻きボイスコイル	1 x 15 " (380 mm) 紙パルプコーン、ツインロール含浸ファブリックサラウンド、52 mm (2") エッジ巻きボイスコイル
高周波デュアル同心円	1 x 1.3 " (33 mm) アルミニウム / マグネシウム合金ドーム、エッジ巻きボイスコイル付き	1 x 1.3 " (33 mm) アルミニウム / マグネシウム合金ドーム、エッジ巻きボイスコイル付き	
クロスオーバー			
周波数	1.2 kHz	1.2 kHz	1.1 kHz
タイプ	バイワイヤード、ハードワイヤードパッシブ、低損失 2 次ローパス、1 次ハイパス	バイワイヤード、ハードワイヤードパッシブ、低損失 2 次ローパス、1 次ハイパス	バイワイヤード、ハードワイヤードパッシブ、低損失 2 次ローパス、 2 位 ハイパスを注文する
調整	1 kHz から 30 kHz のシェルビングで ±3dB、5 kHz から 30 kHz のスロープでオクターブあたり 2 dB から -6 dB	1 kHz から 30 kHz のシェルビングで ±3 dB、5 kHz から 30 kHz のスロープでオクターブあたり 2 dB から -6 dB	1 kHz から 30 kHz のシェルビングで ±3 dB、1 kHz から 5 kHz のシェルビングで ±3 dB、5 kH zから 30 kHz のスロープでオクターブあたり 2 dB から -6 dB
ユーザーコントロール	高音のロールオフ、高音のエネルギー	高音のロールオフ、高音のエネルギー	トレブルロールオフ、トレブルエネルギー、プレゼンスエネルギー
エンクロージャー			
タイプ	ツイン分散ポート	ツイン分散ポート	ツイン分散ポート
コネクタ	5 x 4 mm 24 ct Tannoy カスタマイズされたバインディングポスト	5 x 4 mm 24 ct Tannoy カスタマイズされたバインディングポスト	
寸法 HWD	350.5 バツ 309 バツ 523.2 んん (13.8 バツ 12.2 バツ 20.6")	447 バツ 308 バツ 863.3 んん (17.6 バツ 12.1 バツ 40")	650.2 バツ 424.9 バツ 1033.5 んん (25.6 バツ 16.7 バツ 40.7")
正味重量	18.5 kg (40.8 ポンド)	29.4 kg (64.8 ポンド)	50 kg (110.2 ポンド)
建設	19 mm (¾") パーチクルボード、合板内部ブレース付き MDF- 大幅に減衰	19 mm (¾") パーチクルボード、合板内部ブレース付き MDF- 大幅に減衰	
終了	ウォールナット単板と高吸音ナイロングリルカバー	ウォールナット単板と高吸音ナイロングリルカバー	
アクセサリーパック (付属)			
	バイワイヤーブリッジコネクタ	バイワイヤーブリッジコネクタ	
	プレステージウッドワックス	プレステージウッドワックス	
	ゴム足	調節可能な足	

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

TANNOY